

科目名	中医学概論 1						年度	2026	
英語科目名	Chinese Traditional Medicine 1						学期	前期	
学科・学年	鍼灸科 2年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	矢野恭一郎	教員の実務経験		有	実務経験の職種		鍼灸師		
<b>【科目の目的】</b> 中医学の基礎理論は、陰陽五行、気血津液、経絡、臓腑、病因などの各種の理論であり、それらは、四診、八綱、気血、臓腑、病邪、外感熱病などの弁証方法、治則と治法などで構成されている。また、中医学による診断、治療をおこなうには、人体の全体性と人体と自然界との関係を表した、整体観を理解することが必要である。それらの理解、把握を目的とする。									
<b>【科目の概要】</b> ・中医学の基礎理論と弁証論治を理解する ・中医学の整体観を理解する									
<b>【到達目標】</b> A: 理法方穴術と弁証論治の意味を理解出来る B: 八綱が理解出来る C: 気血津液の理論が理解出来る D: 臓象の理論が理解出来る E: 気血津液弁証の基礎が理解出来る									
<b>【授業の注意点】</b> 授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできないが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。 課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	理法方穴術と弁証論治の意味を理解出来た(100%)	理法方穴術と弁証論治の意味を90～80%程度理解することが出来た	理法方穴術と弁証論治の意味を80～70%程度理解することが出来た	理法方穴術と弁証論治の意味を70～60%程度理解することが出来た	理法方穴術と弁証論治の意味の理解が60%以下にとどまった				
到達目標 B	八綱と八綱弁証が理解出来た(100%)	八綱と八綱弁証を90～80%理解出来た	八綱と八綱弁証を80～70%理解出来た	八綱と八綱弁証を70～60%理解出来た	八綱と八綱弁証の理解が60%以下にとどまった				
到達目標 C	気血津液を理解出来る(100%)	気血津液を90～80%理解出来た	気血津液を80～70%理解出来た	気血津液を70～60%理解出来た	気血津液の理解が60%以下にとどまった				
到達目標 D	臓象の理論が理解出来た(100%)	臓象の理論を90～80%理解出来た	臓象の理論を80～70%理解出来た	臓象の理論を70～60%理解出来た	臓象の理論の理解が60%以下にとどまった				
到達目標 E	気血津液弁証の弁証論治が理解出来た(100%)	気血津液弁証の弁証論治が90～80%程度理解出来た	気血津液弁証の弁証論治が80～70%程度理解出来た	気血津液弁証の弁証論治が70～60%程度理解出来た	気血津液弁証の弁証論治の理解が60%にとどまった				
<b>【教科書】</b> 自作プリント、東洋医学概論 医道の日本社、問診のすすめ 東洋医学術出版社									
<b>【参考資料】</b>									
<b>【成績の評価方法・評価基準】</b> 期末試験(100%)									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		中医学概論 1			年度	2026
英語表記		Chinese Traditional Medicine 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ガイダンス	中医学がどのようなものか、その入り口に立つ	1 中医学の歴史を知る	主な中医学の歴史を知った	1	
			2 中医学の立ち位置を知る	医療の世界での中医学の立ち位置を知った		
			3 中医学の活かし方を知る	生活の中での中医学の活かし方を知った		
2	東洋医学と西洋医学	東洋医学と西洋医学の違いを理解する	1 両医学の概念を知る	両医学の概念を理解した	1	
			2 両医学の比較を知る	両医学を知り、比較出来る		
			3 代表書物を知る	中医学の代表書物の概要を理解出来た		
3	弁証論治とは	弁証論治というものを理解する	1 弁証論治の概念を知る	弁証論治の概念を理解出来た	1	
			2 理法方穴術の概念を知る	理法方穴術の概念を理解出来た		
			3 主な弁証方法を知る	主な弁証方法を知った		
4	八綱	八綱というものを理解する	1 八綱の概念を知る	八綱の概念を理解出来た	1	
			2 虚実寒熱を知る	虚実寒熱を理解出来た		
			3 八綱弁証を知る	八綱弁証を理解出来た		
5	八綱	八綱というものを理解する	1 八綱の概念を知る	八綱の概念を理解出来た	1	
			2 虚実寒熱を知る	虚実寒熱を理解出来た		
			3 八綱弁証を知る	八綱弁証を理解出来た		
6	気血津液	気血津液というものを理解する	1 気概念と作用を知る	気概念と作用を理解出来た	1	
			2 血概念と作用を知る	血概念と作用を理解出来た		
			3 津液概念と作用を知る	津液概念と作用を理解出来た		
7	気血津液	気血津液というものを理解する	1 気概念と作用を知る	気概念と作用を理解出来た	1	
			2 血概念と作用を知る	血概念と作用を理解出来た		
			3 津液概念と作用を知る	津液概念と作用を理解出来た		
8	臓象	臓象を理解する	1 五臓概念と作用を知る	五臓概念と作用を理解出来た	1	
			2 六腑概念と作用を知る	六腑概念と作用を理解出来た		
			3 奇恒の腑を知る	奇恒の腑を理解出来た		
9	臓象	臓象を理解する	1 五臓概念と作用を知る	五臓概念と作用を理解出来た	1	
			2 六腑概念と作用を知る	六腑概念と作用を理解出来た		
			3 奇恒の腑を知る	奇恒の腑を理解出来た		
10	気機	気機を理解する	1 気機を知る	気機が理解出来た	1	
			2 生理作用の相互関係を知る	臓腑生理作用の相互関係を理解出来た		
			3 気機失調からの病理を知る	気機失調から生じる病理を理解出来た		
11	気血津液弁証	気血津液弁証を理解し、弁証論治が出来るようになる	1 気弁証と治則を知る	気弁証論治が理解出来た	1	
			2 血弁証と治則を知る	血弁証論治が理解出来た		
			3 津液弁証と治則を知る	津液弁証論治が理解出来た		
12	気血津液弁証	気血津液弁証を理解し、弁証論治が出来るようになる	1 気弁証と治則を知る	気弁証論治が理解出来た	1	
			2 血弁証と治則を知る	血弁証論治が理解出来た		
			3 津液弁証と治則を知る	津液弁証論治が理解出来た		
13	病理病証	病理病証を理解する	1 気病理病証を知る	気病理を理解出来た	1	
			2 血病理病証を知る	血病理を理解出来た		
			3 津液病理病証を知る	津液病理を理解出来た		
14	病理病証	病理病証を理解する	1 気病理病証を知る	気病理を理解出来た	1	
			2 血病理病証を知る	血病理を理解出来た		
			3 津液病理病証を知る	津液病理を理解出来た		
15	前期総復習	前期全体の理解度をはかる	1 八綱の確認	八綱の理解を深めることが出来た	1	
			2 気血津液の確認	気血津液の理解を深めることが出来た		
			3 臓象の確認	臓象の理解を深めることが出来た		

評価方法：1. 口頭確認、2. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等